



一致団結した素晴らしい「運動会」でした⑤ 六年生「104人のラストラン!」「輝く明日に向かって」

最上級生として迎えた運動会、泣いても笑っても小学校最後の運動会です。やはり気合が入っていましたね。応援団やリレー、全体練習においても、常にリーダーとしての意識をもって臨んでいました。そうした6年生のがんばりに、奮起した子どもも多かったと思います。「104人のラストラン」は、力強い走りでした。コーナーを回った直線でのデッドヒートは見ごたえがありました。最後の競り合いの後にゴールして、笑顔を見せたり悔しそうな表情を見せたりと、それぞれに思うものがあったことだと思います。全力疾走する姿に大きな成長を感じました。そして、フラッグを使った表現!「輝く明日に向かって」練習の段階から、フラッグが振られる度に響く“バサッ バサッ”という音色に、立ち止まって見入っていた人も多くいました。本番の動きは、これまでの最高の出来だったと思います。一人一人が一生懸命で、その力が集結されたことで、集団の美を見事に表現してくれました。肩倒立をした後の背中は、土で汚れています。でもそれが何ともかっこいいんです。最後の最後まで、気持ちを一つにしてやりとげる姿に、多くの人が感動しました。下学年の子どもたちも6年生ってすごい!と実感したことでしょう。最後のポーズがきまった瞬間、届けられた拍手の大きさに、きっと演じた6年生も手ごたえを感じたことだと思います。みんなで大江小をリードする存在として頼もしい限りです。卒業まで頼みますよ!

